

2020/1/23 リリース

<MsHD-Beat5.0 の主な特徴 >

MsHD-Beat 5.0 は、MsHD-Vegas 20 と同じく Linux Kernel を 5.4 ベースに統一変更し、DSD1024 のネイティブ再生を可能とした改良 OS で、真の意味の Beat3.0 の後継 OS です。JRiver は、MC26.0.19 を搭載し、NAA を新機能対応の NAA4.0 に対応した、オプションの HQPlayer 4 の Version4.3 に対応しています。（MsHD-Beat3.1 は、HQPlayer 4 (4.2.1)、NAA3.6 が最終対応版）MsHD-Beat 5.0 は主に CPU コア数 4～6 のモデルに最適化しており、PCM 44.1K からの DSD リアルタイム変換は DSD512 が上限となります。

この MsHD-Beat5.0 は、また 6 Core までの Vegas の後継でもあり、Kernel 使用は旧 Vegas5.0Pro をベースとしており、より音質性能を高めたバージョンとなっています。

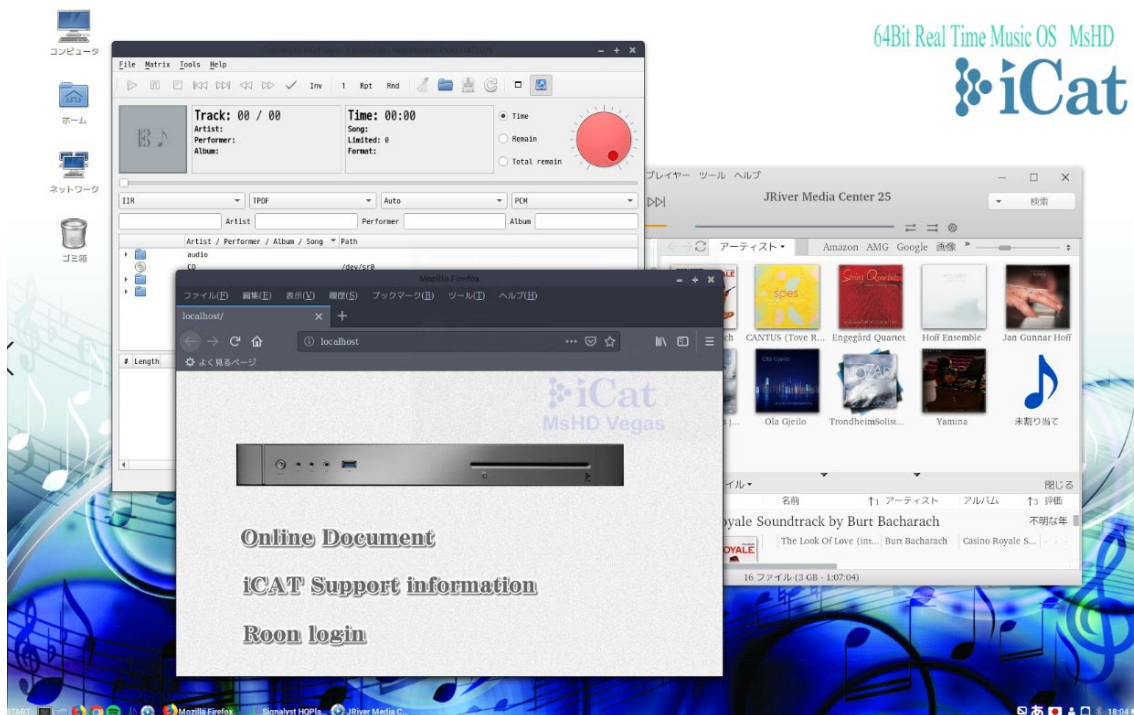
MsHD-Beat5.0 は、新 G モデル G91,71,51 および B モデルへ搭載予定で、6~8 Core の新 S9 および R9,R7 モデルへは MsHD-Vegas20 を搭載します。

<MsHD-Beat3.1 の主な特徴 >

MsHD-Beat3.1 は、MsHD-Beat3.0 と同じカーネルと使用し、2019 年末にアプリケーションとミドルウェアのみを最新版とした、メンテナンスリリースです。

その他は、次ページ Beat3.0 に準じます

MsHD-BEAT 3.0



最新の Linux Kernel Version 4.19 ベースの Realtime オーディオチューニング Kernel 搭載
最新のミドルウェア搭載

最新の ALSA ドライバー 1.1.8 ベースのチューニング Audio ドライバー搭載

最新の Desktop GUI を搭載

Bluetooth マネージャーの最適化、接続性および Bluetooth スピーカー音質改善

Intel 9 世代 CPU、Z390 Chip セットに対応

6 コア 12 スレッド CPU のスレッド・コントロールの最適化

10G/40Gbps LAN 対応

Audio・Video のエンコーダー、デコーダーを最新化

AD コンバーター接続を想定した Sound 入力チューニング

IPv6 対応 HQPlayer NAA 正式対応

オンラインドキュメントの改善

従来比 12% のレイテンシー向上とタスクマネージメントによるシステムレベルのノイズ低減による音質向上

機能面

最新の有償音楽アプリケーション JRiver Ver25、HQPlayer3.25.3、Asset6.2 を搭載

dBpoweramp R16.6 の MsHD 版を標準搭載

HQplayer-Embedded デモ版搭載

リムーバブルメディア、exFAT(R/W)、APFS (Read only) フォーマット対応

iTunes Server 機能の復活、 iTunes 12.9.4 対応

リモートデスクトップ VNC 接続ユーティリティーの改良

一部ユーザー環境におけるシャットダウン速度の改善

ノートモデルにおけるディスプレイ開閉時の動作設定追加

JRiver ライセンス認証の簡易化、ライセンスファイルのクリック化

ユーザーによるソフトウェアの追加と削除の簡易化

多彩なオープンアプリケーション対応 (ex Audacity レコーディングソフト)

* オープンアプリケーションはサポート対象外

